

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

淀川小	学校	児童数	45
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.82	18.56	40.61	35.32	39.74	9.84	148.56	19.14	49.29
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.71	23.73	39.08	42.69	36.25	9.76	138.38	13.08	56.00
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男子の体力の合計点数は、49.29で大阪市や全国の平均を下回ったが、女子は、56.00と大阪市・全国平均を大きく上回った。男女ともに長座体前屈で全国や大阪市の結果を上回り、さらに女子では、握力・上体起こし・反復横とび・50m走で全国・大阪市を上回る結果となった。

体格では、男女ともに身長・体重が大阪市・全国平均を上回っていたが、男子は中等度肥満・軽度肥満がそれぞれ5.9%・11.8%、女子は高度・中等度・軽度肥満がいずれも10%ずつとたいへん高い割合になっていた。

質問紙結果では、「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好き」と肯定的な回答をする児童の割合は、男子が95.4%、女子が100%となっており全国や大阪市よりも高かった。1週間の総運動時間を見ると、60分未満の児童の割合は、男子が23.5%で全国平均・大阪市平均より高くなっていたが、女子においては13.4%と低い割合になっており、一週間の総運動量が体力合計点に影響を与えていることもうかがえた。地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や習い事をふくむ）に入っている割合は、男子が50%女子が61%であり、女子において特に土曜日、日曜日の運動量が多くなっていた。「体育の授業は楽しいですか」の問いでは、肯定的な回答をする児童の割合は男子で86.3%で全国や大阪市を下回っていたが、女子については肯定的な回答が100%という結果であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、児童がより運動に親しむことができるよう昨年度より「淀川ボールパーク」を設立し、運動場にサッカーゴールやバスケットゴール、今年度は野球のベース等を設置して、休み時間にサッカーやバスケットボール、手打ち野球ができるようにした。その結果、5年生を含め多くの児童が運動場で活発に外遊びを楽しむようになってきている。11月に「なわとび集会」1月には「かけあし集会」を実施し、児童が目標をもって運動できるような取り組みを進めた結果、自ら進んでなわとびやかけ足に取り組む様子も見られた。また、教員が子どもたちと一緒に休み時間に身体を動かして遊ぶ姿も多く見られるようになった。体育の授業やスポーツクラブだけでなく、休み時間や放課後に外遊びを継続的に行うことで体力向上を目指す「遊びの習慣化」を今後も進めていきたいと考える。肥満傾向など体格や生活リズムに課題のある児童の割合も高かったことから、これまで学校全体で行ってきた姿勢体操を継続していくとともに、来年度からは保護者からの健康や食についての質問や相談に答える「個別的な相談指導」を実施し、保健指導や食育への理解、意識の向上を図っていくために校内の指導体制を整備していく。